

教 え 子 を 再 び 戦 場 に 送 る な !

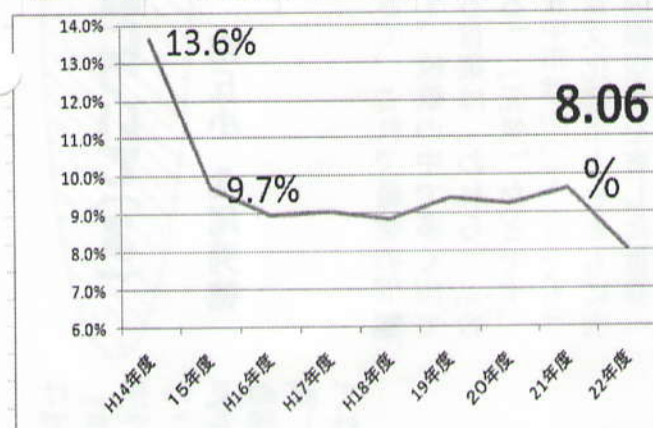
二〇一〇年度豊中市予算 「教育文化都市とよなかの創造」 と言えるのか

豊中市の数字に見る二〇一〇年度予算。その中に占める教育予算の割合は、図に示すようにかつては、十数パーセントあった教育予算が今年度は8%台前半までに落ち込んでいます。

実際、施設設備の改善の予算は年々激減。八年前と比較すると三分の一に減っています。

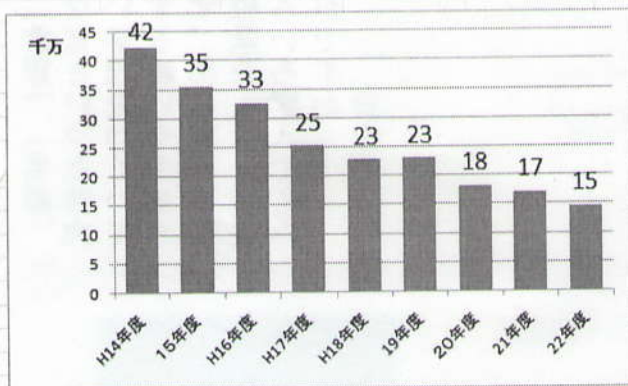
市が策定しようとしている豊中市教育振興計画（原案）では「公民館活動の支援・充実」といつていますが、予算が減らされ公民館事業に参加する市民も減っているのが現実です。市民説明会では「工夫して応援したい」というように苦しい弁解をする始末です。

豊中市の一般会計に占める教育予算の割合



「教育文化都市とよなかの創造」などと称していますが、実際は教育についてもお金をかけないという今の豊中市の姿勢を如実に示す今年度の教育予算です。

施設設備の改善予算



全教

2010年4月19日

N0、451

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

給与制度の改悪に断固として反対しよう！

大阪府人事委員会が給与に関する

「調査・研究報告」を発表

三月三十日、大阪府人事委員会は、大阪府知事及び府議会議長に対し「給与に関する調査・研究報告」

(以下、「報告」)を提出しました。人事委員会は、今回の調査・研究の趣旨・目的について「公務員の給与制度に対して『比較対象

としている企業規模が大きすぎるのではないか』などの指摘が見られる。こうした声を真摯にとらえ、種々の調査・研究にとりくんできた」としています。そして、今回の調査・研究のテーマとして、民間との給与比較のあり方と独自給料表の作成をあげています。

橋下知事に追随し二
十三年度当初の大阪
府給料表改悪に言及

「報告」では「平成二十三年度当初を目処に独自給料表の導入を図る必要がある」として橋下知事が進める二十三年度に向けた抜本的な給与制度の見直しに追

随し、導入時期を明記しています。また、「報告」は「新たな不利益が生じることも想定」と改悪の意図を露骨に示しています。

最初から小さい民間企業の給与水準に固執した調査

民間との給与比較のあり方では、「府内所在の正社員30人以上50人未満の民間事業所100所を調査」した結果について、「きわめて粗い試算である」こと

を前置きしつつも、「公民格差の試算値は▲7238円と、通常の民間給与実態調査(▲885円)に比べ格差が拡大し、ボーナスでは年間3・89月と通常の調査(4・13月)よりも減少」としています。

今回の調査・研究は、橋下知事の「民間の実態を反映していない」との発言を受けて、知事の方針を執行するための人事委員会事務局長マニフェストに掲げ行なわれたものであり、府人事委員会として公正・公平な第三者機関の役割を放棄するものです。

職務に専念できる給与制度と賃金水準の実現を！

府労組連はマニフェストの撤回を求めるとともに、民間実態調査のあり方等に

ついて十分な協議を求めました。

しかし、大阪府は独自給料表の作成を通じて、府職員や教職員の賃金水準を引き下げるとともに、職員間の競争意識を一層あおる給与制度の改悪を推進しようとしています。

私達は橋下知事が進める公務員制度や給与制度の改悪を許さず府民と子どもたちの期待に応える職務を遂行できる給与制度と賃金水準の実現に向けて取り組みをいつそう強めるものです。





全教とよなか 障害児教育学習・交流会

14月29日(木・祝) 13:30~4:00

■福祉会館 1階

4月10日、福祉会館で10年度の新任歓迎会をかねた第1回パワーアップ講座を開催。40名以上の参加者がありました。

「前半は」おまかせHR研究会のレクリエーション指導。「子どもともっと仲良くなれるアイデア百連発」を班ごとに智恵を出し合い、話はずみしました。

甲斐さんのお話は、ご自分の体験を元に、「荒れている子」「覇気の無い子」「支援の必要な子」どの子も大切に、子どもたち1人ひとりの「ねがい」を聴き、子どもの世界を読み取り、参加者がありました。

この日の午前中に行われた1年担任対象の「入門期の文字指導」には、20名の

共感すること、

子どもの願いを大切にしたい 学級づくり

甲斐真知子さんのお話

第2回わかる算数・たのしい授業 PartV

わかってできる算数の授業づくり

カリキュラムのポイントと、模擬授業

日時：5月1日(土) 13:30~16:00

会場：福祉会館(岡町駅東側下車・商店街を東へ ぞう公園前)

講師：何森 真人さん(岸和田市八木南小学校、数教協会員)



豊中市立学校の校歌について(3)

南丘小 北尾秀徳

前回のつづきです。

第4問です。考えてみて
ください。『いるか』や

『かえるのびよん』などでおなじみの詩人で翻訳家である絵本作家でもある谷川俊太郎さんが作詞した校歌が豊中にもあります。

どこでしょうか？ちなみに谷川さんは、全国の小中高大の多くの校歌の作詞をされています。興味のある方はホームページで。答えは第15中学校です。最初の部分は

♪ふりむいた友の笑顔に
ゆれうごく心を開き ひび
きあう歌のしらべに おの
ずから体ははすむ・・・で
す。なんとなく“詩”とい
う感じですね。

・さて、これで最後の問題です。校歌の中で多く出てくる言葉は「われら」「のびる」「元氣」などです。

豊中市はかつて(今でも)教育文化都市とともに大阪国際空港を有した世界への玄関でもあります。

では、「世界」という言葉はいくつの学校で使われているでしょうか？

小中あわせて17校ありました。その中で、2番までに4回も「世界」がでてくるのが、克明小学校です。

・こうやって調べてみると“校歌”にはいろいろな思いやエピソードなど発見できます。また、「平和」だ

けでなく「希望」「笑顔」「自由」などといった前向きで楽しい学校をつくっていかうとする願いや決意が見られます。あなたも自分の学校の校歌をもう一度見直し、いろいろ調べてみてはいかがですか。

おわり



全教豊能ブロック 教育研究集会

■8月28日(土) 午前～午後

■豊中市民会館

午前中：文化行事

絵本作家：長谷川義史さんの講演会

午後：分科会と実技講座

夏休み最後の土曜日に、長谷川義史さんに会えるよ！

ぜひ、ご予約ください

